

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さんてらすなの花		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月5日	～	令和8年 2月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年 1月5日	～	令和8年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月5日	～	令和8年 1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、理学療法士を配置しており、それぞれの視点でアプローチできる	専門職の雇用	より専門性を活かし研修に積極的に向向く
2	利用児の過ごす環境の中に職員が入り支援を行う直接支援型と観察から環境調整や支援方法の情報共有を行う間接支援型の両方に対応している	利用児・保護者・訪問先施設の願いや希望に合わせて過ごしている中に職員が入り支援するパターンや、別室での個別支援、過ごしている環境を観察して支援の方針を協議していく対応をしている	外部研修や施設見学を積極的に行う
3	午前中は動きやすいため、積極的に向向くことが出来る	訪問員の仕事を減らし、集中しやすい環境にしている	放課後デイサービスの長期休暇期間をどうしていくか仕組みづくりの検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	回数が少ない分利用児と信頼関係が築きにくい	月に2回にしていたため、風邪等で欠席となると1か月利用児と会わないこともあった。	・放課後デイサービスの利用児の長期休暇は訪問は難しいため、それを考慮しながら訪問回数を重ね信頼関係を築きたい ・訪問先施設の先生が安心して託していただけるよう先生とも関係を築きたい
2	利用実績が乏しい	訪問先施設の事情の把握が不十分になりすれ違いが発生することが多々あった	保育園(認定こども園)等の事情を把握し、どう連携するか連絡手段の検討をする(メール、オンライン等)
3	保護者様との連携のツールが電話のみとなってしまった	電話しか案内していないため、お互いにすれ違いとなり、保護者様を不安にさせる結果になった	契約時にメール等も案内する。 繋がらない場合の手段を相談し訪問先施設とも連携をとる